

大阪府内産木材利用促進モデル整備等業務（こころの健康総合センター）の  
事業者選定の結果について

大阪府では、大阪府内産木材利用促進モデル整備等業務（こころの健康総合センター）について、公募型プロポーザル方式により提案募集を行った結果、下記のとおり事業者を選定しましたので、お知らせします。

記

1 案件名

大阪府内産木材利用促進モデル整備等業務（こころの健康総合センター）

2 最優秀提案事業者

かわちの森共同企業体

評価点 82.2 点（うち価格点 9.8 点；提案金額 29,683,104 円）

3 提案結果の概要

(1) 提案事業者（受付順） 全 6 者

UNIRE 共同企業体

匠家具工芸+ROOTE 共同企業体

かわちの森共同企業体

WAKKA 共同企業体

(株)福永工務店

大阪・健康木の家共同企業体

以上 申込順

(2) 提案事業者の評価点（降順）

提案事業者	評価点（点）	うち、価格提案部分	
		価格点（点）	提案金額（円）
A	82.2 点	9.8 点	29,683,104
B	82.0 点	9.8 点	29,634,000
C	81.3 点	9.8 点	29,700,000
D	80.4 点	9.8 点	29,700,000
E	79.9 点	9.8 点	29,700,000
F	77.8 点	10.0 点	29,000,000

(3) 最優秀提案事業者の選定理由

- ・シンプルなデザインが美しく、建物の用途に合わせた家具什器が充実している。
- ・大阪府内産木材を余すことなく使い切る工夫があり、既存什器のリユースなど SDGs への取り組みを意識した提案がされている。
- ・日常の手入れのしやすさや定期点検などメンテナンス対策が示されており、長期的な使用の観点から特に優れている。

(4) 選定委員会委員（順不同、敬称略）

氏 名	選 任 理 由
藤平 眞紀子 (奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科 教授)	木造木質建築の維持管理等を研究する住居管理学・木材保存学の学識経験者としての経験から、府内産をはじめとする木材及びその利用全般に関する知識に精通しており、専門的な視点から審査いただくため。
松尾 和生 (公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部長)	木材利用を伴う多彩な建築設計の経験及び日本建築家協会近畿支部に所属し多くの建築設計に対する知見から、府内産をはじめとする木材を活かした設計・監理に精通しており、専門的な視点から審査いただくため。
矢本 浩教 (矢本公認会計士 事務所)	手続きの公正・公平性を確保し、また事業者の事業執行能力についての財務状況等について専門的な視点から審査いただくため。